

日本語通級指導学級の現状と課題について

三原 智子 議員

質問 第一小学校の日本語学級の児童には、日本語を習得し生活を充実させてほしい。現状と課題は。

教育長 生活言語能力だけでなく、学校で各教科を学ぶ学習言語能力には指導教員の計画的指導・支援が必要だ。日本語学級では、日本語の習得のレベルに応じて個別指導を行っている。保護者が日本語を話せない場合もあるため、市は独自の事業で日本語適応支援員を配置し、通訳・翻訳もする技能支援員により保護者支援も図っている。また、第二中学校に日本語通級指導学級を新たに設

置する計画である。



▲日本語通級指導学級を開設予定の福生第二中学校

「赤ちゃんの駅」で乳幼児連れの家族が外出できる環境を

青木 健 議員

質問 乳幼児連れの家族が外出を楽しめるよう、テントにおむつ交換台、授乳用椅子等を備えた移動式「赤ちゃんの駅」を導入してはどうか。

市長 乳幼児のいる家族がイベント等に安心して外出できるよう、七夕まつりやふれあいフェスティバルでは、公共施設の授乳室やイベントに仮設した授乳・おむつ替えコーナーを利用いただいている。

会場等に臨時に設置する「赤ちゃんの駅」については、市民ニーズや他市の活用事例等も参考に、各イベントの主催者の意向も踏まえて課題

を整理していきたい。



▲兵庫県猪名川町で実施している移動式「赤ちゃんの駅」

小中学校のアナフィラキシーショックを防ぐ体制づくりを

五十嵐 みさ 議員

質問 食物アレルギーは時にショック反応を起こし命にかかわる。医療機関等との連携の取り組みは。

教育長 食物アレルギー疾患のある児童・生徒が原因物質を飲食等すると、アナフィラキシーショックという激しいアレルギー反応を起こし、時に生命が脅かされる場合もある。そのため、全教職員に食物アレルギーに対する正しい知識・情報、適切な対応について研修を行うほかに、地域の医療機関等との連携が必要になる。現在、福生市学校保健会に相談し、小児科のある医療機関と連携

を図る協議を行っている。



▲市のHPにおいてアナフィラキシーの注意喚起

地震災害時の本市のインフラ確保について

串田 金八 議員

質問 視察した東日本大震災被災市は、復興にインフラの再始動を取り上げていた。震災時の対応は。

市長 道路は、緊急輸送道路等を中心に点検し、通行止めや応急補修を実施する。下水道は、震度5弱以上の地震では避難所流下等の重要管路施設を中心に点検し、破損箇所は使用制限し補修する。水道給水停止時は、東京都水道局が応急給水施設拠点で対応する。電気事業者は、震災時も送電を継続し、都市ガス事業者は災害応急対策を実施し供給停止等の措置を講ずる。



▲武蔵野浄水所に設置された応急給水拠点

個人番号カードの申請は任意だとの周知徹底を

池田 公三 議員

質問 マイナンバーの通知カード送付時の説明書には、個人番号カード申請が任意であることやリスクの説明がない。周知すべきではないか。

市長 社会保障・税番号制度は、政府が導入するより公平な社会保障制度の基盤となるもので、個人番号カードは重要な役割を担う。政府も個人番号カードを普及させる様々な方針を示しているが、申請については任意であり、本人の申請により交付するものとしている。個人番号カードは希望者にも交付する旨は、広報・マイナンバー制度特集号、ホ

ームページ等で今後も案内していく。



▲マイナンバーについて周知を図る広報の特集号

市の平和事業の取り組みと今後の課題は

田村 正秋 議員

質問 平成27年は戦後70年だが、取り組んだ事業と今後の課題は。

市長 郷土資料室で企画展を、公民館本館及び分館で、パネル展、学習会、映画会、公民館講座などを7月～9月にかけて開催した。

また、「平和のつどい」を8月16日に開催し、福生の戦後70年を総括し、専修大学元教授の新井勝紘氏に平和の尊さを語っていただいた。

今後は、年々戦争体験者が少なくなっていく中で、平和の尊さ、戦争の悲惨さを再確認し、若い世代の方々がより興味を持つ企画を立案し、

次の世代に引き継いでいきたい。



▲平和事業のリーフレット

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「ふっさいとでんわ」の皆さんにご協力いただき、市議会だよりの音訳をデイジー方式のCDにして、視覚障害者（1・2級）の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。☎042-551-1523

○デイジー（DAISY）とは

デジタル録音図書の国際標準で、聞きたいところをすぐに検索できるなど、情報検索性に優れています。

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。（利用者一割負担）

「ご利用くださいインターネット議会中継」

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけると思います。「市民に開かれたわかりやすい議会」を一層推進するため、積極的に議会情報をお届けしていきたいと考えておりますので、ぜひご利用ください。

◆配信内容

本会議のライブ映像と録画映像 ※録画映像は、過去の会議を会議名や議員名、用語などで検索してご覧いただくことができます。

◆アクセス方法

福生市公式ホームページ(<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>)にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

平成27年第4回定例会本会議の傍聴者数等

- ・傍聴者数 延べ88人
- ・インターネット議会中継閲覧数（12月1日～18日）延べ902人

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映します。放映日時、放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますのでぜひご覧ください。